

『コフレリオ新宿シアター・高田馬場ラビネストをご利用される団体様へ』 - COVID-19 感染防止対策について -

平素よりコフレリオ新宿シアター及び高田馬場ラビネストをお引き立て頂き、誠にありがとうございます。
日本政府より発表されたガイドラインに基づき、館内での感染拡大防止の為、下記の対応をお願いしたく思います。
尚、本ガイドラインは、下記の資料、訓告などに基づき、それを補填する形で、当館の設備、利用規定に合わせ策定されたものです。よって、下記関係機関発行のガイドラインも今一度併せてご確認頂きますようお願いいたします。

○『来年2月末までの催物の開催制限、イベント等における感染拡大防止ガイドライン遵守徹底に向けた取組強化等について
(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長 2020.11.12)』

○『11月末までの催物の開催制限等について (内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長 2020.9.11)』

○『劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版(公益社団法人全国公立文化施設協会 2020.9.18)』

○『舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン (緊急事態舞台芸術ネットワーク 2020.9.18)』

○『公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(公益社団法人全国公民館連合会 2020.10.2)』

○感染防止関連設備について

当館では、下記の設備を導入させて頂いております。適時ご利用ください。

- ・非接触体温計×1、空気清浄機×2(客席×1、楽屋×1)、受付用アクリルシールド×2、
- ・手指、清掃用消毒液(手指・・・4倍希釈/消毒・・・2倍希釈)、

○コロナ感染防止対策責任者の任命

劇場入りの前に、コロナ感染防止対策における「責任者」を1~2名、任命し、管理スタッフへ申告してください。
(※劇団主催、制作主任、舞台監督等が望ましいです。)

○入館管理について

スタッフ、出演者及び関係者の方々は、劇場入館時に、感染防止対策責任者の管理の元、**必ず**全身体温を計測してください。尚、コフレリオ新宿シアターをご利用の際には、出入口が2か所あり、人の流れを管理しにくい傾向がある為、必ず受付にある記入用紙に、入館者の名前と体温を記録してください。

設営、原状復帰等の増員スタッフ、出演者のマネージャー、取材スタッフ等も同様に検温してください。

過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合や、陽性患者との濃厚接触者に指定されている方は入館できません。

37.5度を超えていた場合 当人は入館禁止とし、「東京都新型コロナ対策コールセンター」に電話をし、支持を仰ぎ、指示内容と合わせて劇場管理スタッフへ連絡してください。
その後PCR検査を受け、検査結果を速やかに報告して下さい。

37.5度を超えていないが、倦怠感等体調不良があった場合 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状が見られた場合、当人は入館禁止とし、速やかに近隣の医療機関を受診し、医師の診断を仰いで下さい。その際、新型コロナウイルス感染の疑いがある場合には、劇場管理スタッフへ連絡、PCR検査を受け、検査結果を速やかに報告して下さい。

発熱、味覚異常、咳等、新型コロナウイルス感染の兆候が濃厚な場合

本人、及び本人と2週間以内に接触のあった方は、全て入館禁止とし、「東京都新型コロナ対策コールセンター」に電話をし、支持を仰ぎ、指示内容と合わせて劇場管理スタッフへ連絡してください。
その後PCR検査を受け、検査結果を速やかに報告して下さい。

○楽屋について

- ・楽屋に設置されている空気清浄機は、上演中も常時可動してください。
- ・楽屋の定員を、(ラビネスト…10名、コフレリオ大楽屋…20名、コフレリオ小楽屋…6名)としてください。
難しい場合は、舞台奥、廊下に仮設する等して、過密状態を緩和してください。
- ・楽屋、劇場内では、可能な限りマスクやフェイスガードを着用し、不要な会話を避けてください。
もし、マスクを外し、大声で会話をしている共演者が居たら、お互いに注意しあいましょう。
- ・こまめに手洗い、うがいを励行してください。
- ・メイク用品の貸し借り、使いまわしは非常に危険です。
ヘアメイクスタッフが居る場合、業界団体の感染対策ガイドラインを徹底しているか、必ずご確認ください。
- ・洗濯担当者、清掃担当者は、マスク、ゴム手袋、レインコートを着用するなど、感染に十分ご注意ください。
また、劇場イスに汗をかいた衣装をかけて乾かすなどの行為は、絶対におやめ下さい。
- ・食事を提供する場合は、1回分ずつ分けて配布できるものとし、ケータリング形式では行わないでください。
休憩中の食事は、なるべく「屋外」をご利用頂き、十分な距離をとって、飛沫感染に注意して下さい。
尚、劇場内での炊き出しは一切禁止とさせていただきます。
- ・楽屋内へのお客様、上演とは無関係な関係者の入場は行わないでください。
やむを得ず入館が必要な場合は必ず検温と体調の確認を行い、十分な距離とマスクの着用をお願いします。
- ・ご来場者様との楽屋での面会は禁止とさせていただきます。
- ・他劇場にて「楽屋でのクラスター発生」が報告されています。
最も感染リスクの高い場所であるという共通認識を持って、節度ある行動を行って下さい。

○舞台の上演について

- ・劇場内の空気清浄機は、常時運転してください。
- ・お客様を入れて公演を行う場合、劇場内の換気扇は、常時運転してください。
- ・上演時間が120分を超える場合、5分休憩を入れて搬入口を一度解放するなど、大きく換気できる時間を設けるなどの工夫を行ってください。
- ・仕込み、バラシの際、人数が密にならないよう、人員や入り時間の調整を行ってください。
- ・場当たり、リハーサルは、長時間となる事が想定されます。30分～1時間ごとに、5分程度の換気休憩を行ってください。
- ・マスク着用や公演前後の手洗い、手指消毒を徹底してください。
- ・舞台上で触れる機器・小道具等、また舞台面の清掃・消毒・殺菌を行ってください。
- ・消えモノの使用に関しては、当面の間、禁止とさせていただきます。
- ・マイクの使いまわしは危険です。必ず1名1本か、変更時に消毒を行ってください。
- ・マスクをせず、近距離の役者どうしが大声で会話する、舞台ツラで客席に向かって大声で叫ぶ等、お客様に感染のリスクや不安を与える可能性があるシーンは、演出を工夫して下さい。

〇ご来場されるお客様との感染防止について

・ご観劇の際には、マスク着用を義務付けて下さい。

また、上演の内容によってはフェイスシールドの着用をお願いする等、対策を行ってください。

・以下の場合には、ご来場を控えて頂くよう要請、告知を行ってください。

- 発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合

- 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状がある場合。

- 過去 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合

- 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合

・出待ち、入り待ちは厳格にお断りしてください。

・握手会、2ショットチェキ会など、不特定多数と接触するようなイベントや、

終演後、不特定多数のお客様を招いての打ち上げ会は危険ですので自粛して下さい。

ただし、お客様との面会、チェキ会等について、3密を避け、待機列を1メートル以上確保し、

出演者とお客様が、ビニルシート越しでマスクを着用する等、濃厚接触しない安全が確保されていると判断できる場合、**利用団体の責任**において、厳格な安全管理の下で行ってください。

その際、安全管理の対策に関して、会場とお客様に対し、必ず報告、告知をしてください。

尚、安全管理に問題があると判断される場合は、劇場から中止の指導をさせていただきます。

・折り込みチラシや手渡しでのパンフレット配布は原則不可とし、お客様が自ら手に取るような設置を行ってください。

・尚、劇場に他劇団の制作さんを集めての折り込み会は**不可**とさせていただきます。

小屋入り前日に稽古場等を使って事前に折り込んで頂くか、Next等の折り込みサービスをご利用下さい。

・祝い花、フラワースタンドの受付は行って頂いて構いませんが、搬入業者との接触にご注意ください。

・出演者への贈り物は、受付で預かり、消毒して渡すなどの安全管理が出来ていれば問題ありません。

ただし、飲食物の差入れは、感染リスクがありますので、ご遠慮下さい。

・チケットレスや、お客様自身での目視のもぎり等、お客様との接触を極力避けた入場にご協力下さい。

やむを得ず当日精算などを行う場合は、アクリル板をご利用頂き、感染防止策を十分に講じてください。

・入場待機列、お手洗いの列など、十分な距離(1m)を取ってお並び頂けるよう指示をお願いします。

・上演終了後は、退館するお客様が密にならないよう、入口に近いお席から順にご帰宅頂くよう受付スタッフが誘導してください。

・記入式のアンケートは行わず、インターネットなどをご利用下さい。

・ご来場のお客様に対し、全て非接触体温計による検温を行って下さい。

来場者が体調不良を訴えたり、過度の咳や、37.5度を超えていた場合

ご入場をお断りし、住所地の保健所、又は「東京都新型コロナ対策コールセンター」に電話をしてもらう。

上演中や入場後に発覚した場合は、お客様のお名前、連絡先を必ず控えて下さい。

また、上演中にご退出頂く場合、お休み頂くスペースはありませんので、

コロナ対策コールセンターの指示を仰ぎ、ご帰宅頂くか近隣の病院に速やかに移動してください。

○物販スペースについて

- ・当劇場の物販スペースは、場所が限られておりますので、密になる可能性がございます。下記のような対応をお願いいたします。
- ・開演前物販は、入場列のお客様とバッティングする可能性がありますので、お控え下さい。
- ・物販列は 1m のソーシャルディスタンスを厳守するよう管理人員を配置してください。
- ・アクリル板の飛沫ガードを用意しております。ご利用下さい。
- ・お金や商品のやりとりがございます。手袋の使用や、手指の消毒をこまめに行ってください。
- ・物販商品のリストを作り、ホームページに公開したり、手袋をしたスタッフが事前に配るなどの対応を行ってください。
- ・不特定多数が手に触れるようなサンプル品や見本品は、極力取り扱わないようにしてください。
- ・可能な限り通信販売などをご用意ください。

○客席について

- ・収容率は、現在、政府発表で 100%以下となっておりますが、間隔をあけて上演頂く必要がございます。客席の設置に関しては、上演内容によって異なりますので、必ず劇場スタッフと打合せを行ってください。例えば、無声演劇等でない場合、アクティングエリアと客席との距離を十分確保して頂く必要があります。（客席と舞台の間にビニルシート設置の場合は、距離を開ける必要が無いケースもございます。）

○消毒のお願いについて

- ・マチソフ間や、休憩時間、終演後の時間を利用し、下記の消毒を団体様で行ってください。
- ・客席シート(スプレー噴霧)
- ・出演者と接触や飛沫の可能性のある舞台セット、暗幕、小道具、衣装
- ・劇場ドア、お手洗いのドア、洗面台、水栓レバー ・受付台天板 ・各種電灯スイッチ類

○陽性者判明時の対処フロー

- ・お客様、または関係者の中から、新型コロナウイルスの感染が確認された場合、下記の手順で連絡、情報公開を検討し、必要に応じて実施いたします。

【パターンA】会場利用日が感染者の発症日から2日前までに当たる場合

- ① 陽性者に対し、発症 14 日までの行動履歴を保健所が聞き取り調査。
濃厚接触の疑いがある2日前の施設、主催者に対して聞き取り調査。
- ② 主催者は、陽性者が出た旨を速やかに会場へ報告。
- ③ 病院からの報告に基づき、保健所から消毒の指示や、濃厚接触者数について報告。
- ④ 陽性者数など、クラスター感染の疑いについて調査、保健所から報告。

【パターンB】会場利用日が感染者の発症日から3日以上に当たる場合

- ① 陽性者に対し、発症 14 日までの行動履歴を保健所が聞き取り調査。
同じ施設での陽性者が複数出る等、クラスター感染の疑いがある場合、会場、主催者に調査の可能性。
- ② 主催者は、陽性者が出た旨を速やかに会場へ報告。
- ③ クラスター感染の疑いがある場合、保健所から連絡が来る可能性あり。
- ④ クラスター感染の疑いがない場合は、保健所からの連絡はありません。

情報公開について

保健所からの聞き取り調査の内容により、対応が異なります。

濃厚接触者無し … 特に情報公開は行いません。

来場者に濃厚接触者有り … お客様のクラスター感染が疑われる場合、会場ホームページに情報を公開。

関係者に濃厚接触者有り … 楽屋、公演会場でのクラスター感染が疑われる場合、会場ホームページに情報を公開し、稽古場の場所や、利用者の感染対策について情報を聴取し、公開を検討。

○その他

- ・劇場入りの段階で、1 人の感染者もいない事を大前提とし目標にして頂きたいと考えています。
稽古場での換気、マスクとフェイスガード、検温などの感染対策を万全にお願いします。
- ・公演の成功を第一に考え、本番 2 週間前になりましたら、大人数での外食や、不特定多数の人との接触は極力控え、感染防止対策をより一層行うよう、出演者、スタッフ間の情報共有を行いましょう。
- ・コロナウイルスを取り巻く状況は日々変化しておりますので、ガイドラインは適時更新されます。
劇場契約時と内容が異なっている可能性があります、それを考慮、了承した上でご契約下さい。
また、必ず最新のものをご確認下さい。

○東京都新型コロナウイルス対策コールセンター 0570-550571 (9:00~22:00)

(2020年 11 月 16 日 改定)